

## 気候変動適応社会をめざす地域フォーラム（地域適応フォーラム）キックオフ会合 参加者アンケート質問への回答

地域適応フォーラム参加者からいただいた質問に対して、関連する第1回会合の発表者と相談し、事務局として回答を作成しました。主な質問と回答をご紹介します。

Q. 温暖化影響の簡易予測ツール、大変興味があります。(市民への見える化ツールとして)HPでの公開はいつ頃になるのでしょうか？

A. 簡易予測ツールは、平成23年度の成果物として作成しており、公開は平成24年4月以降で予定しております。簡易予測ツールは、温暖化の地域への影響の予測結果を格納し、取り出すことができる入れ物ですので、予測研究の進捗に応じて、充実させていくこととなります。

Q. モデルスタディの実施を検討していますが、専門家の先生とのマッチングはどのような方法を考えておられるのでしょうか？また、今後、当市で専門家の先生の基調講演を考えています。財政的な支援とかは可能ですか？

A. 環境省環境研究総合推進費S-8「温暖化影響評価・適応政策に関する総合的研究」に参加されている各分野の専門家はもちろんこと、文部科学省「気候変動適応研究推進プログラム」とも連携して、専門家をご紹介します。まずは、地域適応フォーラムの事務局にご相談ください。なお、地域適応フォーラムではモデルスタディの実施についての予算をもって活動したいと考えておりますが、モデルスタディ以外で地域活動への財政的支援は、研究予算という性質上、難しいと考えています。

Q. 本県では、「県地球温暖化対策実行計画」において適応策を進めると共に、温暖化防止条例の策定への検討の中で具体的適応策へのアプローチ方法を考えていく予定です。検討に向けて取り組むべき内容や、モデルスタディの実施について相談ができる方々をご教示いただきたい。

A. モデルスタディのコーディネイトを、地域適応フォーラムの事務局が務めさせていただきます。貴県での検討内容に応じて、必要な体制もご用意しますので、個別にご相談をさせていただきます。

Q. 温暖化影響・適応に関する情報プラットフォームに興味を持ちました。情報・知識の集積をはかるものだと思いますが、具体的にどのような仕組みなのでしょう。単にドキュメントを集めただけではあまり効率良く利用できないので、なにか知識処理・情報処理的な技術が組み込まれる必要があるように感じます。何か構想があれば、教えて欲しいと思います。

A. 情報へのアクセス・利用を容易にするための情報源情報の提供を行なうとともに、要約的な解説記事等も紹介していければと考えております。自動検索ロボットやテキスト情報の処理等の技術も検討したいところですが、現段階では考えておりません。まずは、温暖化の将来予測情報等について、科学の成果としての信頼できる情報を丁寧に提供できればと考えています。

Q. 水災害については、治水ということからの内容としてはわかるのですが、それが起きる根本的な部分への適応はどうか。森林行政との連携等がみえない。

A. ご指摘の通り、適応策は行政分野横断的な取組みが必要であると考えます。国レベルでの行政分野間の連携も今後検討されると思いますが、地域適応フォーラム事務局としては、地域における行政分野に連携による適応策の具体化を検討していきたいと考えています。

Q. 温暖化影響・適応策がメイン主題であるが、3.11福島原発による放射能原子物質の飛散も大気・土壌・水質等の問題であると思うが、このフォーラムでこの種のテーマは取り上げ可能でしょうか？

A. 温室効果ガスに起因する気候変動が地域に与える影響と適応策という研究テーマの範囲内での活動です。

以上